

2009（平成21）年度GBIF日本ノード運営委員会 議事要旨

日時：2009（平成21）年12月2日（水）14：00～16：30

会場：JST東京本部 住宅棟1階 会議室

出席者：●委員長

大久保公策委員、●伊藤元己委員、菊池俊一委員、小池文人委員、

菅原秀明委員、松浦啓一委員、三橋弘宗委員、水谷知生委員、

欠席者：城石俊彦委員、多田内修委員、山崎由紀子委員

オブザーバー：

岩槻 邦男	東京大学・名誉教授
小原 雄治	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所・所長
清水 英幸	国立環境研究所アジア自然共生研究グループ・主席研究員
中静 透	東北大学生命科学研究科・教授
長村 吉晃	独立行政法人農業生物資源研究所基盤研究領域 ゲノムリソースセンター・センター長
細矢 剛	国立科学博物館植物研究部菌類、藻類研究グループ ・グループ長
松永 恒雄	国立環境研究所地球環境研究センター 地球環境データベース推進室・室長
前川二郎	鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター・教授
森脇 和郎	独立行政法人理化学研究所バイオリソースセンター・ 特別顧問
本間 善之	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課・ ゲノム研究企画調整官
熊澤 周平	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課・植物研究系
吉田 洋	外務省軍縮不拡散科学部国際科学協力室・ 外交実務研究員
阪口 法明	環境省自然環境局生物多様性センター・企画官
奥田 青州	環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性地球戦略企画室・係長
八木橋史子	農林水産省技術会議事務局研究推進課知的財産班 知的財産第2係・係長
新倉 由健	国土交通省総合政策局環境政策課・係員
井上 聡子	JST研究基盤情報部情報整備課・課長代理

【議題】

1. GBIF日本ノード活動報告

(1) 国立科学博物館（松浦委員）

- ・ GBIF ポータルサイトへ日本語によるデータ発信数、今年度の発信予定件数について報告があった。
- ・ ワークショップなどの集会等、開催終了報告および今後の開催予定について説明があった。
- ・ 第16回理事会（GB16）に委員長として参加をした報告があった。
- ・ Forward Look Teamに京都大学白山教授が今後の活動指針を策定する活動に参画することになった旨の報告があった。
- ・ 論文や学会における発表の報告があった。

(2) 国立遺伝学研究所（菅原委員）

- ・ GBIF ポータルサイトの使用方法、掲載内容等について説明があった。
- ・ 一般（民間）からも情報を収集する工夫が必要との指摘があった。これに対して、科博によるダイバーからの魚類情報収集の成功例や i-Phone などを活用した欧米の試みを参考にしながら、一般からの情報を収集する仕組みの構築に取り組みたい旨の回答をした。

(3) 東京大学（伊藤委員長）

- ・ 情報の国際標準化に向けた策定と調査のための活動報告があった。
- ・ GBIF が開発をしたソフトウェア群について内容の説明があった。
- ・ GBIF Asia Regional Meeting の参加報告があった。
- ・ IPT Helpdesk Experts Training Workshop の参加報告があった。
- ・ e-Biosphere' 09 の参加報告があった。
- ・ Third International Barcode of Life Conference の参加報告があった。
- ・ 昨年に引き続き、種名チェックリストの作成について現在の進捗状況およびデータベース化した種情報の累計について報告があった。
- ・ 生物分布情報について、環境省生物多様性センターと情報提供に関する覚え書きを交わした旨の報告があった。
- ・ 今年度末まで国外へ提供するクリーニング予定の標本情報の報告があった。
- ・ 昨年に引き続き、種情報と DNA バーコードシステム Ru:Ga を構築しており、主の情報を日本のポータルサイトで紹介することで利用者数の増加が見込めるとの報告があった。

その他

- ・ 環境省からの活動報告があった。（坂口・奥田）
- ・ 日本ポータルサイト「お知らせ&関連情報」に関して生物多様性に関するイベント情報が COP10 開催に伴い、活発に行われているとの報告があった。（菅原委員）

以上